



OB・OG紹介 — 卒業生の現在 —



星野成美さん

世田谷祖師谷大蔵雲母保育園 管理栄養士

新潟青陵高等学校卒業→新潟医療福祉大学健康
科学部健康栄養学科卒業→世田谷祖師谷大蔵雲
母保育園 管理栄養士

現在のお仕事について教えてください

保育園では調理業務、書類業務、保育補助が主な業務です。調理では離乳食、給食、おやつ作りを行います。クラスによって食材の形状や味付け、提供時間が異なる上にアレルギーを持つ子の作り分けがある場合もあります。子供たちの成長は著しく、成長段階に合わせた食事の提供を行っています。書類業務では給食日より献立作成等を行います。保育補助では主に0歳児クラスや1歳児クラスで活動を共にします。食事やミルクの介助も行います。

ご自身のお仕事への思いについて教えてください

1年目とはいえ、子供たちや保護者の方の前では先生であるため常に自分の言動には気を付けています。管理栄養士として子供たちに様々な食体験をしてもらうためには、自分自身も食べたことのないものを食べに行き、様々な体験をしてそれを献立や行事に落とし込めないか常に考えています。

高校生の頃、どんなことを考えて過ごしていましたか？

将来のことについて特に考えることなく過ごしていました。管理栄養士は理系の資格という印象があるかもしれませんが、私は当時何も考えていなかったため文系を選んでいました。学年が上がるにつれ進路のことについて担任の先生や親から色々言われることもありましたが、さすが進路を決めるぎりぎりまで将来やりたいことが本当になく、困っていました。

管理栄養士になった理由はなんですか？

ロンドンオリンピックが開催された年に連日テレビで日本人選手がメダルを取るニュースがやっており、スポーツ選手だけでなく選手に帯同していたスタッフにも注目が集まりました。私はそれが単純にかっこいいという理由だけでスポーツ選手に携わる仕事がしたいと思うようになり、食で選手を支える管理栄養士という職業を知り、目指そうと思いました。

大学時代にやっていたことはなんですか？

スポーツに携わる栄養士になりたかったため、ボート競技や陸上競技を行う大学生に食事提供のボランティアができたことは非常に贅沢な経験でした。と同時にスポーツ分野で仕事をするのは狭き門なのだと学びました。この活動の中で選手の食選択への意識の差が気になり食の基本が形成される乳幼児期に携わりたいと思ったことがきっかけで現在の仕事へと繋がりました。

「新潟医療福祉大学でよかった」と思うことはなんですか？

授業ではグループで意見をまとめ発表する機会が多くそれを先生や他のグループから評価を受け改善する。ボランティアでも自分たちで考えてやってみる。そしてうまくいかなかった部分は次回改善するというように、学生主体の授業や活動が多く自然と学生間で連携を図ることができていたことは今になって良かったと感じます。

臨地実習ではどこに行きましたか？

県内の病院、学校給食センター、保健所、特別養護老人ホーム、スポーツ施設に実習に行かせていただきました。

最も印象に残っている臨地実習先はどこでしたか？

保健所の実習が印象に残っています。保健所の業務は管轄する地域の住民全員を対象とするため、事業の規模も大きくなります。健康課題の把握、優先すべき課題の抽出、健康課題を改善するための事業の立案まではスムーズに行っても事業の規模が大きいために、法律の問題や、関係機関との連携などが問題になりせっかく考えた事業が実現できないことを知り、管理栄養士だけでは解決するのは限界があることを実感しました。実現可能性と連携、発想力が必要な現場だと学びました。

その実習先での活動は現在のお仕事につながっていますか？

規模こそ違いますが、クッキング保育やお誕生会などの行事は、いつもできない特別なことを経験してもらうために実現可能かどうか周囲の人に相談したり、アドバイスをいただいたりして連携を心がけています。

